

「たんぽぽのちえ」授業記録

菟道第二小学校 吉川恵美子

この時間までの授業

1) うえむらとしおさんが一番言いたいことを書いている段落はどこか？

→10の段落

→どうしてそう思うのか？

→「このように」という言葉で、この説明文をまとめて書いていると思うから

→では、10の段落から読もう

という流れで、10の段落を読むことにした。

○10の段落の一文めで、変だ、おかしいを見つけて、問題作りと解明

・「このように」って、どういうこと？

・「たんぽぽは」って、どのたんぽぽ？

・「いろいろなちえ」って、どんなちえ？

・「いろいろなちえをはたらかせています」って、なんのため？（目的）*対立

2)

○10の段落の2文めで、変だ、おかしいを見つけて、問題作りと解明

・「あちらこちら」って、何？

・「あちらこちら」って、どこの「あちらこちら」？

・「たねをとおくまでとばす」と「あちらこちらにたねをちらす」との違いは？

・「あちら」にちらすのはわかるが、「こちら」にもちらしてるのか？それは、どの段落に書かれているか

3) 9段落で、たねはとんでるのか *対立

4) ちらし始めは、何段落から？ *対立

5) 「このように」でくくられた「たんぽぽのちえ」は、どこから書かれているのか？「このように」という言葉から考えると、10の段落の前すべて？

→1の段落には、「いろいろなちえをはたらかせている」ことが書かれているか？（対立）

→1の段落の文末表現や書き方と、それ以降の段落の文末表現や書き方とを比較しながら、探っていく。（本時）

◎前時までのおさらい

T1 今まで、「たんぽぽのちえ」を勉強してきたよね。まず、ちょっと、おさらいだよ。
みんな、「たんぽぽのちえ」を勉強するとき、何番の段落から勉強した？

C 1 4 10

C あ！10や！ 10 10

T2 なんで、10からにしたんやった？

C （口々に言う）

- T 3 なおきさんがこういうの得意やから、言ってあげて。
- C 1 10 のところに、「このように」とかまとめていることばがあったり、「ちえ」っていうことばがあったり、10 には、大事なことばが入ってるから。(なおき)
- T 4 どう？そのとおり？違う？ちょっと付け加える？どう？
- C いいと思う。あってる。
- T 5 何がよかったの？どのことばで、みんなは、10 の段落にしようと思ったの？
- C このように
- T 6 これは、どんなことばやったの？
- C まとめていることば
- T 7 何を？
- C 全部（口々に）
- C 2 まとめた段落からする。(りくと)
- T 8 10 の段落には、何が書いてあったっけ？
- C 3 いろいろなちえをはたらかせている。(みいな)
- T 9 何が？
- C たんぽぽが
- T 1 0 ここで勉強したじゃない。ちえをはたらかせると、ちえをもっているのちがい。
- C 4 ちえをもってるだけやったら、かしこいかわからへんけど、ちえをはたらかせたら、かしこいってわかる。
- T 1 1 どう？いい？みんなも、ちえをもってるんやな。どこにもってるんやったっけ？
- C 頭。脳。
- T 1 2 たんぽぽも、ちえをもっているだけちがって
- C はたらかせてる
- T 1 3 はたらかせてるって書いてあるな。たんぽぽも、かしこさをはたらかせてるんやあって。なんかしてるんやて。それがいろいろあるんやな。その目的は、なんやった？
- C あちらこちらに・・・
- C あたらしいなかまを・・・
- T 1 4 どっち？
- C あたらしいなかまをふやしていくため。
- C 5 りくとさんのでわかった。(みいな)
- T 1 5 ああ、ほんまや。よう覚えてるなあ。あたらしいなかまをふやすために、いろいろなちえをたんぽぽははたらかせてるの？その方法として
- C あちらこちらにたねをちらす
- T 1 6 というのを昨日勉強したね。あちらこちらにたねをちらすのは、どこからか。
- C 8 番

◎1 の段落は、たんぼぼがはたらかせている「いろいろなちえ」について書かれている段落なのかどうか？（10の段落の「このように」が指している範囲は、1の段落も含まれるのかどうか？）

T 1 7 今日はな、最後の問題。先生の助けはいらんか？やってみるか？

C やってみる。

T 1 8 「このようにいろいろなちえをはたらかせている」というのは、全部まとめてやって言ってくれたな。ということは、いろいろなちえは、1番から書いてあるっていうことでいいの？

C それは、どんな花がさいているか・・・

T 1 9 1番は、入らないの？このようにって書いてあるのに？ちょっと、みんなで、これ考えてみてみ。1番には、たんぼぼがちえをはたらかせていることが書いてあるのか書いてないのか考えよう。

C 5 題名ってさ、1番の中に入ってるの？（むつき）

T 2 0 どういうこと？

C （口々に言う）

T 2 1 題名は、何？

C たんぼぼのちえ

T 2 2 1番から10番までで、たんぼぼのちえについて説明してあるんやろ。

T 2 3 指示調べして。

C 6 どっちがどっちなん？（ひいろ）

T 2 4 ああ、そうやな。

C 7 1番が、はたらかせているで、2番が、はたらかせていない（むつき）

(1) 6人

(2) 22人

C 8 ぼくは、2番です。なぜかという、1番には、いつ咲くどんな花かが書かれています。

T 2 5 反応してよ。ちょっとそれではわかりませんか、ああなるほどとか。

C 9 あの、「たんぼぼの黄色いきれいな花がさきます。」って書いてあって、どんなちえをはたらかせているかは書いてなくて、どんな花かを言うたはるから、ちえをはたらかせていることは書いてないと思います。

T 2 6 どう？まだ、納得いかない？じゃあ、これがちえだと思ふ人は、なんでなん？どれが、ちえなん？

C

T 2 7 多分、一番の人は、これじゃないの？春になると、たんぼぼの黄色いきれいな花がさくというのがちえだということなんやろ。違う？そういうことやろ？

C ああ

- T 2 8 1番の人は、これがちえなんだよって言うたはる。2番の人は、これはちえじゃないって言うんでしょ？ちがうの？
- C そう！
- T 2 9 そうやな。ほんなら、これがちえかちえじゃないかを確かめなあかんやろ？確かめる方法があるねん。
- C 1 0 後を読む？（みいな）
- T 3 0 これやこれ。
- C 1 1 そこそこ。私もそう思っていました。（なお）
- T 3 1 ちえをもってるだけやったらあかんって言ったな。
- C ちえをはたらかせなあかん。
- T 3 2 そう！はたらかせるっていうのは、たんぼぼさんが、なんとなくやっちゃってるの？それとも、考えてやってるの？
- C 考えてやってる。
- T 3 3 そのとおりや。じゃあ、一番は、考えてやってることかどうか確かめたらいいやろ？ほんなら、書き方見たらええねん。
- C 春になると、・・・
- T 3 4 むつきさんみたいに考えるんだよ。先生が、書き方を観たらいいんだよって言ったら、睦月さんは、ちっちゃい声で「春になると、たんぼぼは、黄色いきれいな花がさきます。」って読んだんだよ。読みながら、どこにはたらかすって書いてあるんやろうって考えたんやなあ。どうや？ほかのところと比べてみたらええんや。わからへんときは、比較したらええねんで。くらべたらええねんで。2番から先と1番と、どうちがうか？あるいは、同じなのか考えて。
- C 1番かも。
- C 急に、「2, 3日たつと」って書いてる・・・
- T 3 5 読んでみたらええのと違う？読んでみよう。いい？まず、一番読んで。せ〜の。
- C (1段落を読む)
- T 3 6 って書いてあるな。次、2番行くで。証拠見つけや。1番(段落①は、たんぼぼのちえ)か2番(たんぼぼのちえではない)の。
- C (②③を読む。)
- T 3 7 ここまでで考えようか？
- C 7番までは書いてないんかも。
- T 3 8 2番とな3番はな、何について書いてある？
- C 1 2 花とじくのこと書いてある。
- C 1 3 2番の続きで、そのあとにどうなるのかを3番には書いてある。(みいな)
- C 1 4 でも、「のです」って書いてない。(むつき)
- C 1 5 たんぼぼは、白い綿毛がでてくるまでのことが書いてある。

T 3 9 じくのこと書いてる？3番。じくの話してはる？
C してはる。
C 1 2 花のじくは、ぐったりと地めんにおれる。(みいな)
T 4 0 ほな、ここは？
C 1 3 たんぽぽは、かれてない。(みいな)
T 4 1 じゅきさん、さっき言おうとしたのは、なに？ここ来て。
C 1 4 (「のです」を2個示す。)
T 4 2 勉強したこと使ってはるわあ。「のです」って、どんなときに使うんやったっけ？
C (口々に言う。)
C 2つ文があって、うしろから説明する。
T 4 3 うしろから何かを説明しているとき、理由とか。この文は、ここを説明してるの？
これも説明してるの？そうか？ほんなら、これ読んで。
C (「けれども、たんぽぽは、かれてしまったのでありません。」を読む。)
T 4 4 なんのことを言ってるの？これは。
C 1 5 たんぽぽは、たおれても、かれてない。(なおき他多数)
T 4 5 これ？これか？
C 1 6 まだかれてないということを証明しようと思って、かれてないよということが書いてある。(なおき)
T 4 6 すごいわあ。これなんやった？
C けれども
T 4 7 これ、なんていうんやった？
C 1 7 反対のことば(なお)
T 4 8 ぎ
C 1 8 ぎやく
T 4 9 ぎやくにつなぐって言う意味で、なんていう？
C 1 9 ぎやくせつ(りくと)
C あ！それや！それぞれ！
T 5 0 みんなで考えたら、思い出すなあ。「今日は雨が降っています。けれども、運動会をします。」
C ええ～～～っ？！
T 5 1 よっぽどなんか理由があるはずやなあ。
C うん！
T 5 2 ほんまやったら、雨やったら？
C 中止
T 5 3 じくが倒れる。普通は？
C 枯れる

- T 5 4 けれども
C あ！これも、ちえ！（口々に・・・）
- T 5 5 なんで、そう思うの？
- C 2 0 花とじくを静かに休ませるって書いてあって、かれてしまったのではありませんって書いてある。（みいな）
- T 5 6 みいなさん、なんて言わはった？忘れたんやったら、みいなさんに言って。
- C 2 1 もう一回言ってください。（ひいろ他多数）
- C 2 2 私は、それもちえだと思います。なぜかと言うと、花とじくを静かに休ませて、その前にも、かれてしまったのではありませんって書いたある。だから、ちえだと思ふ。（みいな）
- C 2 3 なるほど（なおき）
C なるほど なるほど そういうことか
- C 2 4 だから、多分、静かに休ませて、たねにたくさんの栄養を送っているというのは、多分、ちえをはたらかせるために、ちえに、たくさんの栄養をおくって、考えられるようにしているのと同じ意味やと思う。（なおき）
- T 5 7 そう書いてあるの？
- C 2 5 花とじくを静かに休ませる。（みいな）
- T 5 8 「のです」は、前の説明やな。たんぽぽは、知らんうちに倒れたん？それとも、わざと倒したん？
C わざと倒した。（口々に）
- C 2 6 えいようをおくるために、じくをたおしてる。（りくと）
- T 5 9 倒れる理由があんねんな。倒すのはちえ？ちえだと思ふ人？
C （全員挙手）
- T 6 0 軸を倒すのは、ちえなんやな？ 1 と比べてるんやで。花が咲くことはちえなんかどうか？書き方見てや。今、何を探しているかわかる？1 番がちえなのかどうか、他の段落と、書き方を比べているんやで。2・3は、ちえなんやな。じゃあ、4 番から読むで。どこまでがちえなんか言うてや。どうぞ。
C 音読（4～5 段落）
C あ！わかった！！
- T 6 1 しんぺいさん、どうぞ。
- C 2 7 「のです」がついてる。（しんぺい）
C 1 番最後！
- T 6 2 どこを説明してるの？
C 1 文め。「らっかさんのようになります。」（口々に）
- T 6 3 何が？
C たんぽぽのわた毛。

- T 6 4 それはなんのため？
- C 「このわた毛についているたねを、ふわふわととばすのです。」
- T 6 5 ということは、らっかさんになるのは、ちえか？ちえでないか？
- C ちえ！（口々に）
- T 6 6 なんで、ちえってわかるの？
- C （口々に）
- T 6 7 ひゅうがさんが仲間入りし始めたわ。ひゅうがさん、どうぞ。
- C 2 7 ……わすれました。（ひゅうが）
- T 6 8 ええよええよ。誰か手伝ってくださいって言い！
- C 2 8 誰か手伝ってください。（ひゅうが）
- C 2 9 白いわたげが出てきて、らっかさんのようになって、ふわふわたねをとばさへんかったら、目的になれへん。目的がでないから。（むつき）
- T 6 8 訊きや。わかったんやな。質問はないんやな。むつきさんは、何のことを言わはった？目的って何なん？
- C 最後に書いてある。
- C 3 0 むつきさん、もう一度言ってください。（なおき）
- C 3 1 白いわたげができてきて、らっかさんのように飛ばさへんかったら、目的が……（むつき）
- T 6 9 その目的って、何のことを言ってるの？
- C 3 2 最後に書いてある。あたらしいなかまをふやしていく。
- T 7 0 むつきさんは、違うかもしれないよ。聴こう。
- C 3 3 あたらしいなかまをふやすこと。
- T 7 1 ああ！なるほどな。
- C 3 4 あ！あたらしいなかまをふやすために、全部やってる。（みいな）
- T 7 2 たんぽぽは、知らんうちにやってるのか、わざとしているのか？
- C 全部、わざとしてる！（口々に）
- T 7 3 じゃあ、これ（1の段落）もやな。
- C え？それは……
- T 7 4 これの政界に気が付いてほしいんねんか。そのために、今、くらべてる。まだ、気が付かへんねんな。（チャイム）

*このあと、ちえの4つ目（晴れて風のある日には、らっかさんは、いっぱいひらいて、とおくまでとんでいき、しめり気が多い日や、雨ふりの日には、わた毛のらっかさんは、すぼんでしまうこと）を確認し、ちえは、必ず、後ろからその理由を言ったり、説明したりしていること、1の段落には、それが無いことを、押すさえようとしたが、なかなか、答えに到達することができなかった。

